

平成 21 年度～23 年度 習志野市事務事業評価表

1. 事務事業基本情報

事業名	No.36 救急医療対策事業			担当課	健康支援課			予算費目名	款	項	目	
事業概要及び目的	習志野市急病診療所の管理運営、休日当番医・二次救急医療体制を整備する			成果指標	急病診療所・休日当番医・二次当番医の受診患者数	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	4	1	5	
					計画値	急病診療所：3,500 人 休日当番医：3,800 人 二次当番医：6,500 人	118,335,000	122,770,510	118,005,000	平成 23 年度		
						急病診療所：3,500 人 休日当番医：3,800 人 二次当番医：6,500 人	116,481,245	120,563,746	115,485,789			
							2	2	2			
事業の位置づけ	章 1	豊かな人間性と暖かさを育むまち	★左記施策（号）との結び付き 体制の整備によって、急病で困っているすべての市民が市内で受診できる。 ただし、市民の健康や安易な受診という点では、数字の増減だけで判断できない。	従事延べ日数	156	338	208					
	節 2	保健・医療・福祉環境の整備		民間活力の導入	現状は？：□実現している □将来可能性はある ■将来困難だが可能性はある □余地なし							
	項 1	保健・医療の充実			相手は？：□市民 □市民活動団体 ■企業・学校等							
	号 3	医療体制の充実			形態は？：医療機関か医師会での運営への事業協力							

2. 進捗状況

				平成 21 年 7 月 1 日記入					平成 22 年 6 月 1 日記入					平成 23 年 4 月 15 日記入
年度	21 年度評価（20 年度実施した事項についての評価）				22 年度評価（21 年度実施した事項についての評価）				23 年度評価（22 年度実施した事項についての評価）					
実施計画上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画上の 予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画上の 予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由
完了した事項	<ul style="list-style-type: none"> 習志野市急病診療所と休日急病歯科診療所の管理、運営 休日当番医・二次救急の当番医等の電話案内やホームページへの掲載 救急医療ガイドの作成、ホームページへの市内医療機関情報の掲載 				<ul style="list-style-type: none"> 習志野市急病診療所と休日急病歯科診療所の管理、運営 休日当番医・二次救急の当番医等の電話案内やホームページへの掲載 救急医療ガイドの作成、ホームページへの市内医療機関情報の掲載 				<ul style="list-style-type: none"> 習志野市急病診療所と休日急病歯科診療所の管理、運営 休日当番医・二次救急の当番医等の電話案内やホームページへの掲載 救急医療ガイドの作成、ホームページへの市内医療機関情報の掲載 					
継続している事項	・				・				・					
未着手事項	・				・				・					
改善案	引き続き、救急医療ガイドや習志野市ホームページの夜間・休日・小児救急のページの更なる周知。成果指標とは結びつかないが、かかりつけ医を持つことを奨励し、日頃から健康への留意をうながす。				引き続き、救急医療ガイドや習志野市ホームページの夜間・休日・小児救急のページを周知すると共に、夜間・休日での十分な救急医療の提供は難しいため、日頃からかかりつけ医を持つことや、日中の早めの受診について、市民に周知する。				引き続き、救急医療ガイドや習志野市ホームページの夜間・休日・小児救急のページを周知すると共に、夜間・休日での十分な救急医療の提供は難しいため、日頃からかかりつけ医を持つことや、日中の早めの受診について、市民に周知する。					
	成果指標 実績値（人） 急病診療所：3,136 休日当番医：3,899 二次当番医：6,504 達成率 97%				成果指標 実績値（人） 急病診療所：4,336 休日当番医：5,221 二次当番医：7,020 達成率 123%				成果指標 実績値（人） 急病診療所：3,494 休日当番医：4,296 二次当番医：7,172 達成率 108%					

3. 今後の方向性

※課内協議を経て管理職が記入してください。					平成 21 年 7 月 24 日協議実施	平成 22 年 6 月 9 日協議実施					平成 23 年 4 月 18 日協議実施						
今後の方向性	成果の方向性	拡充				成果の方向性	拡充				成果の方向性	拡充					
		現状維持			○		現状維持			○		現状維持			○		
*根拠欄は、なぜその「成果の方向性」を選んだか？なぜその「コストの方向性」をえらんだか？別紙「評価の視点」を参照してください。		縮小					縮小					縮小					
		休廃止					休廃止					休廃止					
			休廃止	縮小	現状維持	拡充		休廃止	縮小	現状維持	拡充		休廃止	縮小	現状維持	拡充	
	★上記を選択した根拠 救急医療体制について、一応整備されたものと考えている。						★上記を選択した根拠 救急医療体制について、一応整備されたものと考えている。						★上記を選択した根拠 救急医療体制について、一応整備されたものと考えている。				
方向性を実現するため実施すること（改革案）	今後も引き続きホームページなどを活用し急病診療所等、救急医療体制について市民に周知を図っていく。 あわせて、夜間や休日での十分な救急医療の提供は難しいことを市民に周知する。						今後も引き続き、ホームページ等を活用し急病診療所等、救急医療体制について適正受診も含めて、市民に周知を図っていく。 あわせて、夜間や休日での十分な救急医療の提供は難しいことを市民に周知する。						今後も引き続き、ホームページ等を活用し急病診療所等、救急医療体制について適正受診も含めて、市民に周知を図っていく。 あわせて、夜間や休日での十分な救急医療の提供は難しいことを市民に周知する。				
前年度改革案の実施状況	■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。						■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。						■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。				